

今さら聞けないICT利用による教育の意義と方法

■講師

林 敏浩（香川大学 学長特別補佐、創造工学部 教授、大学連携 e-Learning 教育支援センター四国 センター長、総合情報センター 副センター長、大学教育基盤センター ICT教育部長、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 教授）
平成元年3月徳島大学工学部情報工学科卒業、平成6年徳島大学にて博士（工学）の学位取得。平成6年より佐賀大学理工学部講師、平成17年より香川大学総合情報基盤センター准教授、平成25年より香川大学総合情報センター教授。教育工学を専門として、大学全体の教育支援システムを含むコンピュータ・ネットワークシステムの導入、運用、管理、利活用支援まで広範に担当。

■プログラム概要

近年、大学を含む各種教育機関ではICTを利活用した教育・学習方法（電子教具の利用、遠隔会議システムによる遠隔講義、LMSを活用した非同期型学習環境の提供など）が積極的に導入されています。このような状況では当たり前のように、そして、何の抵抗もなくICTが教育の中に入ってきています。もちろん、ICT利活用によって教育・学習が改善されたという話も多くあります。

しかし、ここであえて問いかけたいと思います。我々が行っているICTを利活用した教育は本当に良いのでしょうか。あるいは、そういう問題意識を持ってICTを教育に利用すべきかどうか判断されていますでしょうか。本プログラムはこのようなアンチテーゼ的な視点で講義を展開しようと思います。そして、今さら聞けないICT利用による教育の意義と方法を参加者の皆さんとディスカッションしたいと思います。

■主な受講対象

ICTを利活用した教育・学習方法を取り入れた授業をしているがなんとなくしっくり来ない、あるいは、導入を考えているがよくわからないという教員の方を歓迎します。また、教育に関わるコンピュータ・ネットワークシステム導入に関わる教職員の方々も歓迎します。

■本プログラムの到達目標

1. なぜ、ICTを教育・学習に取り入れるのか、その理由が説明できる。
2. ICTを利活用した教育・学習方法の善し悪しを自分の観点で説明できる。
3. 大学教育に必要なコンピュータ・ネットワークシステムの要点が説明できる（特に、教育に関わるコンピュータ・ネットワークシステム導入に関わる教職員の方々）

■日時・場所

日時：平成30年8月29日（水）13：00～15：00

場所：香川大学幸町北キャンパス